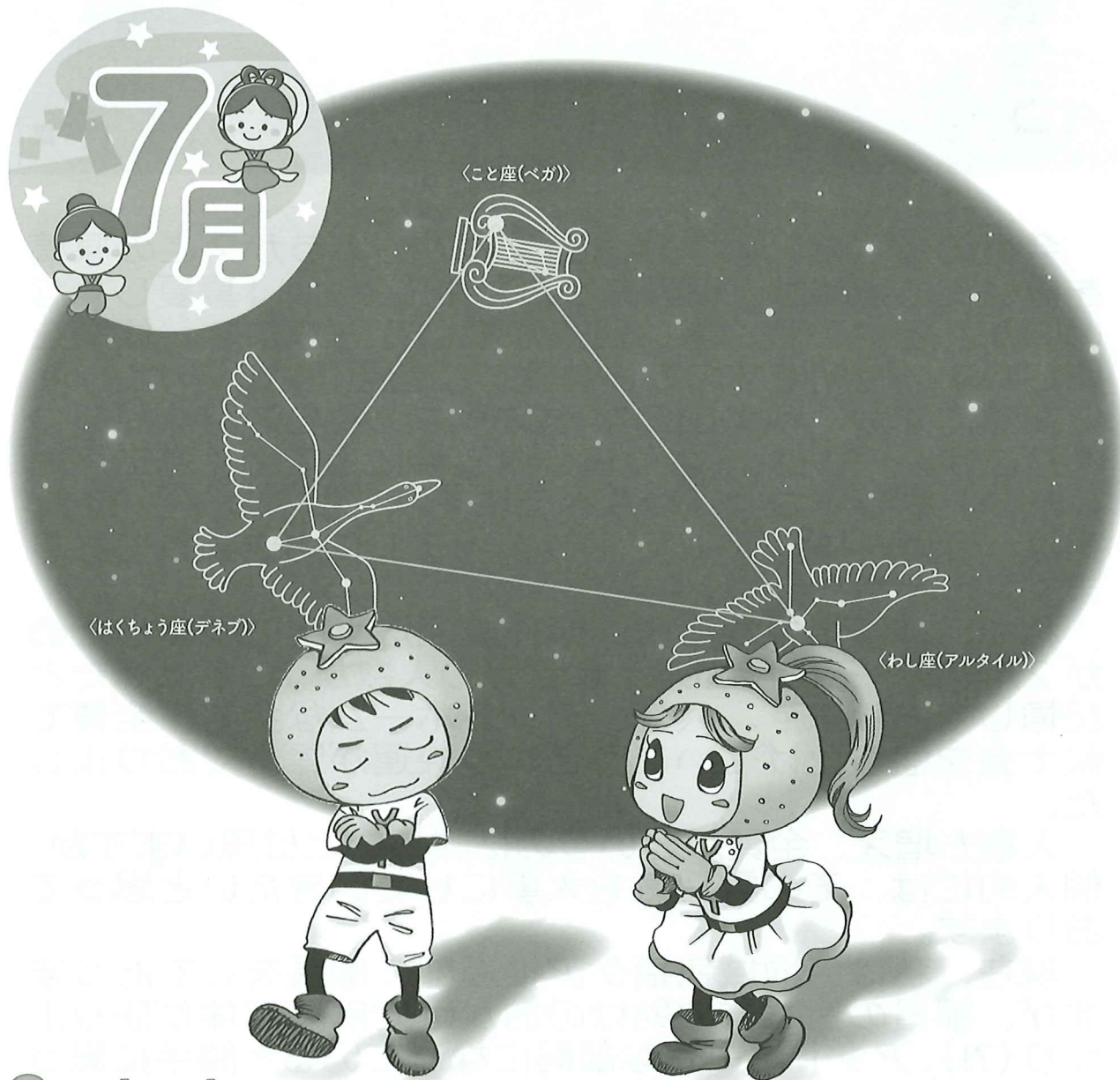




一般社団法人 山口県作業療法士会

No.330

それっちゃ やまぐち



Contents

| | | |
|--------|-------|----|
| 巻頭言 | | 2 |
| 研修会案内 | | 3 |
| 部局・委員会 | | 5 |
| 事務局より | | 7 |
| みちしるべ | | 12 |
| しっちゃん | | 13 |
| 編集後記 | | 16 |

巻頭言

バトンタッチ



介護老人保健施設 寿光園
信久美佐子

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか？この原稿を書いている時は、梅雨真ただ中ですが、「真夏じゃないのか」という程、暑い日々が続いております。体調を崩しやすい時期ですので、体調にご留意下さいませ。

突然ですが、私の山口県作業療法士会での目標が2つあります。一つは、「より良い県士会にしていく為に尽力したい」もう一つは、「後輩へうまくバトンタッチ」です。実は、今は、「後輩へのバトンタッチ」に力を入れております。

私が、神奈川県から山口県作業療法士会に所属したのが27年前、その時の県士会会員の人数が70名だったと記憶しております。大変、アットホームな会で、全員で県士会を盛り上げていこうという機運が漂ってございました。

人数も増え、全員がというのは難しいとは思いますが、個人的には、その雰囲気大事にしていきたいと思っております。

現在、私は、地域包括ケア推進部の部長をしておりますが、部員の皆さまの助けのおかげで部局自体が盛り上がり(?!)、アットホームな部局になっていると勝手に思っております。そして、頼もしい後輩がいっぱいです。

いつでもバトンタッチできそうです(笑)。これからの私の仕事としましては、後輩へうまくバトンタッチが出来るよう、更に、仲間を増やすことと思っております。

今年度、山口県作業療法士会は40周年を迎えております。是非、皆さまも、山口県作業療法士会の未来へつなぐ糸として一緒に参加されませんか？

お待ちしております。

研修会案内

県士会主催の研修会案内

「第3回現職者共通研修会」のご案内

1. 日 時：令和5年8月8日（火）19時～20時30分（受付18時30分～）
2. 開催方法：山口コ・メディカル学院（Zoom）
「ミーティングID」「パスコード」等は、申込時の返信用メールにてお知らせします。
3. 対象者：（一社）日本作業療法士協会会員
申し込みまでに（一社）日本作業療法士協会への入会手続き・会費納入をお願いします。
4. テーマ：講座4「保健・医療・福祉と地域支援」
5. 講師：岡藤 農 先生
6. 参加費：無料（会員外500円）
返信用メール記載のURLよりPassMarketを通じての支払いとなります。
7. 支払期間：令和5年7月12日（水）～令和5年7月31日（月）
8. 申込方法：<https://forms.gle/gxBrHDjHgitnVw5b8>より必要事項を記入して下さい。
9. 申込期間：令和5年7月12日（水）～令和5年7月31日（月）
10. 問合せ先：山口コ・メディカル学院 TEL 083-933-0550 当日連絡用TEL：050-3199-1570

以上

申込用QRコード

Passmarket
QRコード

「現職者選択研修会（老年期領域の作業療法）」のご案内

この度、現職者選択研修会（老年期領域の作業療法）について研修を行うことと致しました。Zoomでのweb研修会といたします。当日Zoomの操作など必要となりますので、事前に準備をお願いいたします。研修を運営するにあたり、皆様にもご協力をいただく点もありますが、多くの学びや気づきにつながるよう、より多くの皆様に参加いただけるようよろしくをお願いいたします。

1. 日 時：令和5年9月3日（日）9時～16時（受付8時30分～）
2. 開催方法：Web開催（Zoom）「ミーティングID」「パスコード」等は、後日連絡いたします。
3. 対象者：（一社）日本作業療法士協会会員
4. テーマ：老年期領域の作業療法
5. 講師：豊田 拓吉 先生、今村 陽子 先生、山田 朋子 先生、岡藤 農 先生
6. 参加費：中国地方県士会員3,000円 その他県士会員4,000円
（ただし、山口県内の施設に所属で県士会員ではない方は15,000円）
申し込み後、担当より支払いのご案内をメール致します。PassMarketを通じての支払いとなります。
7. 申込方法：<https://forms.gle/XtbU3AeWEFgpnLqb7>より必要事項を記入して下さい。
下に添付のQRコードからも申込可能
8. 申込期間：令和5年6月12日（月）～令和5年8月23日（水）
9. 問合せ先：山口県立総合医療センター リハビリテーション科 山本 拓海
Tel：0835-22-4411 E-mail：rihabiri@ymghp.jp
当日連絡用TEL：050-3199-1570



以上

申込用QRコード

※連絡事項：

- ① 申込時のメールアドレスは、当日 Zoom で使用する個人の PC 用メールアドレスでお願いします。
- ② 申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが違っている可能性がありますので、再入力をお願いします。
※ Google. com からのメールがブロックされないよう設定をお願いします。何度入力しても確認メールが届かない場合は、担当者へお問い合わせ下さい。
- ③ 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。
- ④ 申込時の会員情報（会員番号・氏名等）は、日本作業療法士協会に登録したものと同一ものを入力してください。以下の URL より確認をお願いします。
<https://www.jaot.net/mm/#/login> 適切に入力されないと生涯教育システムへ登録出来ません。
- ⑤ 研修会中の画面を録画させていただく場合がありますので、ご了承下さい。個人情報の保護については、会の方針に則り適切に運用させていただきます。
- ⑥ 研修会受講時には当該年度有効の県士会会員証と協会会員証を提示してください。会費納入が遅れ、会員証を受けとってない方は振込受領書を提示して下さい。提示が出来ない場合は生涯教育ポイントの発行は出来ません。

再掲

令和 5 年度 第 1 回学術部定期研修会

あなたとわたし、心健やかでいるために
～作業療法士として対象者と自分自身にできること～

1. 日 時：2023 年 7 月 29 日（土） 9：00～12：00（受付 8：30～）
2. テーマ：「対象者と自分自身にできる精神的ケア」
3. 講師：山口県立総合医療センター 神経科診療部長 芳原 輝之 先生
小郡まきはら病院 臨床心理士／公認心理師 原田 雅史 先生
4. 申込方法：下記 QR コードよりフォームに記載して申し込みをお願いします。
フォーム URL <https://forms.gle/MTVDgzJqJjqqoLHUk9>
5. 申込締切：2023 年 7 月 13 日（木）



※詳細は 6 月号を参照

他団体主催の研修会案内

第 7 回 維新リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

1. 日 時：2023 年 8 月 30 日（水） 18：30 から 20：00
2. 開 催：Web（Zoom）
3. 参加費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント 1 ポイント
5. 内 容：整形外科総論：「手関節の機能解剖」 整形外科各論：「手関節周囲の疾患」
6. 講 師：梶田 芳徳 先生：済生会下関総合病院
認定ハンドセラピスト、認定作業療法士、骨粗鬆症マネージャー
7. 注 意 点
 - ① 参加証明書配布のため、インターネット環境下の PC で閲覧をお願いします。
 - ② 1 名につき 1 つのアドレスでご登録下さい。
 - ③ 病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください。
 - ④ 複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります。
 - ⑤ 講義中に提示したスライドなど資料配布はありません。

8. 問い合わせ先

維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸（もりわき よしゆき）
メールアドレス：ishin.rehabili@gmail.com



部局・委員会より

部会編成 (令和5年度)

【事務局】 担当理事：高山直美

局長：高山直美

局員：岡原 光、田中伸二、久保田真生、上田純也
西野友理子、児玉深雪、岡崎理恵

情報記録委員会

委員長：高山直美

委員：齊藤隆一、西野友理子

災害対策室

室長：赤木正雄

委員：各地区担当理事

ICT委員会

委員長：濱本尊博

委員：木下大介、石丸拓也、小林 努、岩本晋一
大田茂臣、齊藤隆一、安田貴士
義永眞利、松田秀好、中嶋克行

倫理委員会 担当理事：豊田拓吉

委員長：豊田拓吉

委員：赤木正雄

選挙管理委員会

委員長：伊賀崎輝

委員：原田愛子、福原大輔

【財務部】 担当理事：高山直美

部長：田村ひとみ

部員：青木久美子、佐藤真澄

【事業部】 担当理事：幸田英二

部長：幸田英二

特別支援教育対策委員会

委員長：上田純也

委員：川内麻由佳、中村めぐみ、小林暉尚
秋永里美、菅野花純、小川諒、白石俊則

自動車運転対策委員会

委員長：田中伸二

委員：三坂 純、片山 繁、石原弥生、藤井綺子
澄田悠太、筒井太一、徳本武司、今井崇弘
赤木正雄

一般公開講座実行委員会

委員長：幸田英二

委員：徳田典通、片山 繁、大田茂臣、上岡 純
村上 泉、岩本晋一、伊達泰彦、河内 遥

企画委員会

委員長：幸田英二

委員：齊藤隆一、徳田典通、渡辺慎介、長富祐理絵
内田亜記、上岡 純、藤本亜弓、米原健太郎
藤本秀幸、安永慎佑、橋本千枝、三宅真寿美

【学術部】 担当理事：木原涼子

部長：木原涼子

部員：井上拓也、中村由美子、藤井綺子、角上勇作
義永眞利、野村克樹、山本拓海、日笠美歩
藤村明恵、藤村圭介、内田亜記、中森 巧
大下紗代、角 健輔、國司悠花、高本真緒

部会担当

身障部会長：鈴木誠士 老人部会長：岡藤 農

小児部会長：久保雅弘 精神部会長：野坂由美子

地区別担当

下関：矢頭 真 宇部小野田：三田健太、野村菜摘

山口：原田愛子、高柳由美子 萩長門：安田貴士

周南：御書正宏 岩国：国居大介

第34回山口県作業療法学会実行委員会

学会長：赤木正雄

委員長：安田貴士

委員：中嶋 武

県学会在り方検討委員会

委員長：中村敏浩

委員：白澤伸一、齊藤隆一、井上清隆、幸田英二
村上 泉、鈴木健朗、豊田拓吉

機関誌発行委員会

委員長：井上清隆

委員：上田剛史、嵐川嘉人

【教育部】 担当理事：木原涼子

部長：村上 泉

部員：渡辺慎介、濱本尊博、東野幸夫、石丸拓也
徳若雅之、吉木奈王子、久保拓哉、細井謙作

臨床実習指導者養成講習会

リーダー：東野幸夫

【広報部】 担当理事：大田茂臣

部長：大田茂臣

部員：上岡 純、猪股桂吾、上田純也、笹川和彦
奴田原脩一

啓発活動委員会

委員長：大田茂臣

委員：下関：鈴木誠士

宇部小野田：樋元素乃、永富恵子、道祖優子
長谷川典昭、中嶋克行

山口：上岡 純、笹川和彦 萩長門：上田剛史

周南：小林純 岩国：東 裕己、山口正信

高校生一日OT体験実行委員会

委員長：中村敏浩 副委員長：西森啓祐

委員：安永慎佑、山門春穂、石丸和香

県士会ニュース編集委員会

委員長：石丸拓也

委員：吉長卓真、山本隆次、石部春奈、鍵本州英

【福利部】 担当理事：岩本晋一

部長：岡光篤志

部員：松川勇氣、磯村佑哉

【渉外部】 担当理事：木下大介

部長：木下大介

【地域包括ケア推進部】 担当理事：信久美佐子

部長：信久美佐子

部員：今給黎龍

地域支援事業班

リーダー：井上清隆

部員：原 直利、福島由香、森重龍夫

三宅真寿美、田谷由桂里、高田幸二

認知症支援班

リーダー：橋本千枝

部員：上谷昌次、赤木正雄、浜中詠美、大枝康祐

藤田綾香

MTDLP班

リーダー：鈴木健朗

下関：山田晃基 宇部小野田：奴田原脩一

山口：山本昌臣 萩長門：小林暉尚

周南：鈴木健朗 岩国：三宅真寿美

住環境福祉機器班

委員長：岡真人

委員：井上拓也、小田 篤、齊藤昌志、万田祥秀

古谷正登、鍵本州英

地区別研究会担当

下関：和田耕一郎 宇部小野田：畑野晃一

山口：岡 真人 萩長門：中嶋 武

周南：杉山将希 岩国：豊田拓吉

福祉機器担当

福祉機器担当委員：中村敏浩

【制度対策部】担当理事：岩本晋一

部長：岩本晋一

保険対策委員会

委員長：岩本晋一

委員：宮内順子、猪野睦代、西野友理子、高山直美
武藤多鶴子**介護保険対策委員会**

委員長：岩本晋一

委員：清水和美、長富祐理絵

(特設委員会)

訪問リハビリテーション研修会運営委員会

代表委員：岡 真人、古谷正登、山門慶子

中国地区合同研修会運営委員会

委員長：岩本晋一

委員：木下大介、中村敏浩、高山直美、幸田英二
大田茂臣、村上 泉**40周年記念事業実行委員会**

委員長：原 直利

委員：石原弥生、奴田原脩一、天野真理子、岡藤 農
井上清隆、石原あやめ、久保田樹、大田茂臣

～令和5年度の部会編成・委員の皆さんです。よろしくお願ひ致します(#^.^#)～

運転対策委員会だより

～地区連携サポート事業の紹介～

運転対策委員会では、今年度から試験的に『地区連携サポート事業』を企画・運用することとしました。本事業は、以前いただいた県士会員所属施設を対象としたアンケートをもとに企画しました。アンケートでは、支援未経験の施設においては支援に対するハードルが高い等の意見が多数ありました。また、実際にどのようにすすめたらいかがが分からず、お互いに手探り状態であるため作業効率も悪い状況が伺えました。このような意見から、支援施設と自動車学校の連携を運転対策委員会がサポートし、地区での連携および運転支援の推進を図ることを目的として企画しました。今回、下関地区において取り組みを実施しました。取り組みについて実施後の感想等を掲載することについてご快諾いただきましたので紹介いたします。

(齊藤先生より)

昨年度、運転対策委員会より『山口県版脳損傷後の自動車運転再開支援における支援者マニュアル』が作成され、運転支援の道標が示されました。しかし、実際に自動車学校での実車評価を行おうとすると、自動車学校への予約・費用・実車評価の手順・評価当日の流れ等わからないことが多く、目の前に支援を求めるクライアントがいるにも拘らず、実車評価を躊躇していました。そこでこの度、運転対策委員会の『地区連携サポート事業』を活用させて頂きました。

『地区連携サポート事業』では、自動車運転支援及び自動車学校との連携を経験した委員の方に自動車学校へ来て頂き、私と教官の連携を円滑にサポートして頂きました。具体的には実車評価予約時の事前確認事項(繁忙期の確認、同乗は可能か？同乗者への事故時の補償は？ビデオ撮影の可否？ドライブレコーダーのデータの持ち出しは可能か？等)や実車評価当日の確認事項(実車評価目的、主に運転する車は自家使用か業務使用か・運転未実施期間・疾病と高次脳機能障害、日常生活についての情報共有)、実車評価後の流れ(作業療法でクライアントと確認すること、面談の時期・医師との情報共有の方法)、自動車運転再開に向けての流れの確認などです。細かなところでは、ビデオ撮影時の座席位置、実車評価後のクライアントへの声かけの仕方などもご助言頂きました。今回、『地区連携サポート事業』を活用し、運転支援・実車評価の経験が“無”から“有”になった事で、今後は躊躇なく自動車学校と連携して円滑に実車評価が行えるようになったと思います。

本事業を利用するためには、『県士会員であること』『施設において運転支援に関する承諾を得ていること』『当事者の了承をえていること』『委員は直接的な介入・評価は実施しない』等、条件はありますが支援を検討している施設にとっては、利用するメリットもあると考えています。どんな内容なのか詳細を聞いてみたい！実際に利用したい！等ありましたら、運転対策委員会までご連絡ください。また、本事業以外の内容については、引き続き運転対策委員会相談窓口をご活用ください。(※連絡先は同じ)

問い合わせ・相談アドレス drive.reha.yot@gmail.com

※メールには、氏名、所属、内容を明記してください。

2023. 06. 06

委員長 田中伸二

運転支援に関する支援関連団体に向けた質問募集（2023年度）

運転対策委員会では、警察（免許センター）や自動車学校等と情報共有や調整の機会を設けています。この度、この機会を利用し会員からの質問などに回答いただけることになりました。運転支援を行う（検討する）際には、警察や自動車学校との連携も必要となると思いますので、質問や困りごとなどがございましたら、ぜひご活用ください。

※施設として支援はしていないけど、対象者からこんな訴えがあったときはどのように対応すればよいか？などの質問でも構いません。

よろしくお願いたします。

募集期間 2023年7月31日（月）まで

URL : <https://forms.gle/27H3QJvHfgCTz52j9>

QRコード



運転対策委員会
委員長 田中伸二

事務局より

着文書

(R5.5.11 ~ R5.6.9)

<他県士会ニュース>

東京都 ニュース No.210

群馬県 ニュース第152号

京都府 ニュース No.21

<冊子・パンフ等>

- ・日本福祉用具供給協会 介護保険における福祉用具の利用安全及びサービスの質の向上に資する事業所の体制を強化するための調査研究事業
- ・認知症の人と家族の会 ぽ〜れぽ〜れNo.513、山口支部版82号、ガイドブック「調査研究報告書」

財務より

会員の方へ2023年度の会費振込用紙をお届けしております。各コンビニから振込みができる振込用紙となっております。（郵便局では使用不可）8,100円の額面となっておりますが、

年会費8,000円にコンビニの振込手数料100円を含めての8,100円ですので、郵便局からお振込の方は指定の振込用紙に金額8,000円と記入し振り込んでください。振込みがまだの方は、早急のお支払いをお願いします。

- ・4月末日以降にお振込みの場合は、会員証発行に時間がかかる場合があります。会員証が届くまでは払込受領証を必ず保管しておいてください。
- ・コンビニ振込用紙を紛失された方は、郵便局に振込用紙がありますので、会員氏名・OT協会会員番号を記入し、年会費（¥8,000）を下記まで振り込んでください。

郵便振替口座 口座番号：01590-5-11556
加入者名：山口県作業療法士会

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局

TEL：083-920-0171

*職場の異動などがある場合、振込用紙に変更事項の記入だけでは会員データが更新されません。異動届の提出をお願いします（県士のホームページからも変更出来ます）。

～令和5年度 定期総会報告～

近年、コロナの影響で対面での総会が行えていませんでしたが、コロナが5類となり、ついに4年ぶりに！対面で総会を開催することができました。令和5年5月21日（日）、久しぶりの対面での総会は山口市の総合保健会館で行われ、対面での出席者は39名、議決権行使書の提出は781名、プラス今後入会予定の新入会員の皆さんの参加も多くあり、久しぶりの再会を楽しむ会話もあちらこちらで聞かれました。

そして、配信での傍聴参加者も6名おられ、コロナ前の体制（対面）＋コロナ禍の体制（オンライン）が合体した新たな形式が定着してきたのを再認識した場でもありました。
では、開催状況についてこの記事を通して皆様へ報告させていただきます。



【報告・採決内容】

第1号議案（令和4年度事業報告）：木下会長より

COVID-19 感染対策を続けながら ICT システム構築を進めていき、対面での実施は行えなかった事業もあったが Web 研修会開催・会議の実施などで令和4年度は予定していた事業はほぼ実施できたこと、新入会員に対しての事業や地域活動に向けた人材育成研修なども行ったことを含め詳細に説明報告があった。

第2号議案（令和4年度収支決算報告・監査報告）：財務部長・監事より

各部局・委員会の収支についての説明が行われた。昨年に引き続き、Zoom 会議が主となったことで会議費の増加、交通費の減少が生じていること等の状況も説明された。

その後監事より、収支状況は適正に管理されている旨報告された。⇒承認可決

第3号議案（令和5年度事業計画）：木下会長より

主要目標・重点事項として、①委員会、勉強会、研修会開催のための体制整理 ICT の活用 ②会員資質向上に関すること（学会、勉強会、研修会の開催）、新会員の卒後教育の充実 ③広報活動（県民・他職種・中・高校生への OT 啓発、高校生 1 日 OT 体験、ホームページの更新）④設立 40 周年記念事業の実施 ⑤コンプライアンスを遵守した事業の運営 ⑥公益目的事業の遂行が挙げられた。また、40 周年記念事業では今年 1 年間を通し会員が様々な活動に参加できるようなアイデアを提示していくこと、県士会ニュースについてはデジタル化への移行を行っていくこと等の説明も行われた。

第4号議案（令和5年度予算案）：財務部長より

令和5年度の事業計画に伴う予算案の説明が行われた。

第5号議案（定款変更案）：木下会長より

現在理事数は定款上 8 名以上 13 名以内であるが、業務内容が増加している状況の為、適切な業務を遂行できるように役員数を 13 名以上 20 名以内に変更する案について説明が行われた。

【議決権行使書からの事前質問より】

「理事増加の場合の組織構成はどのようになる予定であるか？」

→（木下会長）現在の理事は多くの役割を兼務状況である。理事業務を適切な人数で役割分担し運用していく方向性である。

⇒質疑応答後、承認可決

第6号議案（日本作業療法士協会との会員情報の共同利用について）：木下会長より

当会は定款の目的において日本作業療法士協会との連携のもとに運用されていること、日本作業療法士協会が各士会との情報共有の方向性を示していることについての説明が行われた。

【議決権行使書からの事前質問より】

「会員情報の共同利用を行わないと協会で一括管理化された研修履修等の運用が困難となるのか？」

→（木下会長）研修履修自体は可能である。ただし現在、研修履歴も含め様々な手続きが協会と士会それぞれにおいて煩雑となってきた状況。これら作業の効率化を目指し、協会が情報の共同利用を進めたい意向がある。この件については当会理事会においても議論し、当士会員の承認を得て進めていくべき内容であるとし、本定期総会の議案として挙げたものである。

⇒質疑応答後、承認可決

【その他、議決権行使書からの質問と回答】

「会費は引き落としにならないか？（手数料等についての質問）」

→（木下会長）現在はコンビニ振込み・郵便振込みの方法としている。今後もより良い方法を模索していく。

「対面式研修の再開を希望している」

→（木下会長）感染対策を行いつつ徐々に対面形式の研修も実施していく予定である。

以上、全ての審議・質問への回答を終え、令和5年度の定期総会は無事終了となりました。

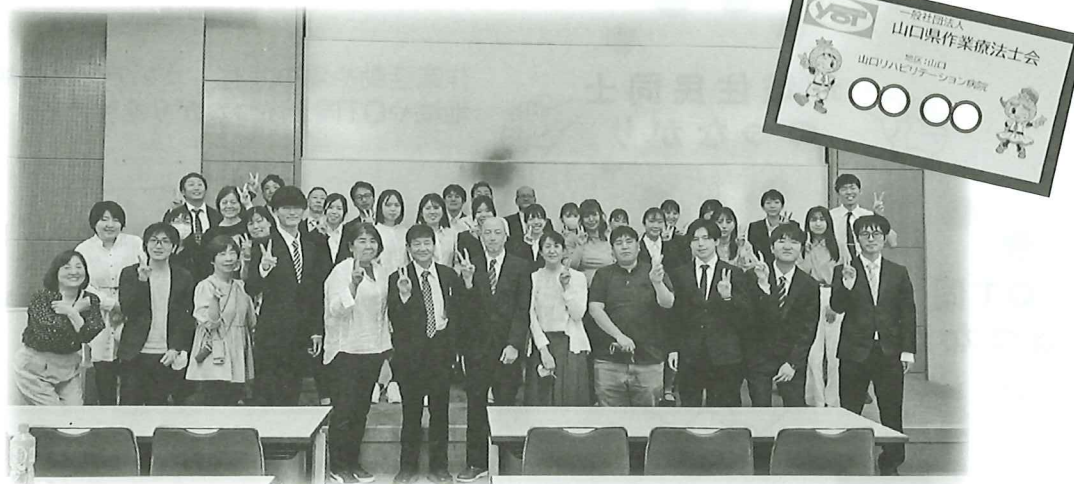
今年度は、対面の活動も増えていく予定です。人と人の関わり・場・環境を含めたOTらしい活動に皆さん大いに参加していきましょう！

～新入会員さん向け山口県OT士会説明会&
新人交流会・名刺交換会を行いました～

定期総会終了後、新入会者さん向けの士会説明会を実施しました。昨年はオンライン開催でしたが、今年はこちらも対面で実施することができ、18名の方が参加されました。

その後、新人さんと理事・役員との名刺交換会を実施しました。ちなみに、新人さん分は、福利部のアイデアで事務局員さんの手作りによる「山口県作業療法士会 ○○（氏名）」という名刺を1人20枚ずつお配りし、「20人と挨拶をしよう！」と、お互いに名刺を交換しながら自己紹介や情報交換をして和やかな交流の時間を持つことができました。

みなさんの初々しさが眩しかったです。一緒に未来の山口県OT界を盛り上げていける事を嬉しく思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします！



りじうら 

～理事会裏話～

第1回の理事会は総会に引き続き山口市の総合保健会館で行われました。今回のトピックスは、①山口県作業療法士学会について、②広報部より写真募集について、の2点です。

まず、1つ目は山口県作業療法士学会についてです。2023年10月8日に萩市で行われることが決まり、現地開催のみということでした。詳細が決まり次第、情報がアップされますので、県士会ニュースやホームページをご確認ください。

2つ目は広報部より、ホームページに載せる作業療法を連想する写真を募集すると報告がありました。募集については県士会ニュースで案内があるそうです。ご協力いただける方はよろしくお願いいたします。

次回は7月に開催される予定です。さらに日中が暑くなると思いますので、熱中症に気をつけてお過ごしください。それでは、また次回！



40周年記念事業実行委員会



テーマ「新時代への波動～未来をつなぐ糸 ITO～」

どんなことをするの？

40周年の1年間を通じた取り組み

地元企業を活用して、作業を通じたつながり、人や場を介したつながりが人や地域へつながっていくことを目指す

レノファ山口とコラボ

年齢や性別を問わずに人気のある、地元企業『レノファ山口』を通してOTという職業を知ってもらうチャンス！

なんのために？

POINT
01

地域共生につながる

地域住民同士の
つながり

作業活動や場の共有、コンテンツの共有を通して
地域やOT同士のつながりを強める

OT同士の
つながり

地域との
つながり

作業療法士の専門職のネットワークと
レノファ山口の地域のコミュニティが、
分野を越えて活動をつなぎ、人と人をつなぎ合わせていく。
地域づくりにむけた支援

POINT
02

OTの啓発

地元のスポーツチームとして知名度の高い、
“レノファ山口”とコラボする。
OTという職業を地域の人に知ってもらう



インスタグラム始めました！
yot.40thで検索してねー！



地域共生社会とは..

人と人、人と資源が世代や分野を越えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創る社会のこと
誰もが支えあう地域を創っていくことを目指す

参加するには？
～今すぐできる～



YOT 40th
RENOFA

塗り絵データはこちら

01 レノファに関わる作業活動

ぬりえ

今月のそれっちゃんに同封して
いますのでご活用ください
※山口県作業療法士会のHp
からもダウンロードできます。

作品づくり

レノファのキャラクターや、レノファを
モチーフにした作品（レノファカラーの
ミサンガづくり）などを作成

応援グッズの作成

地域の特産品を用いた応援グッズや、
お気に入り選手の応援グッズを作成

外出支援

レノファ山口の応援に行きたくても
いけない人への外出支援
etc..

02 SNSやメールでの投稿

Step 1) サポーター登録



#yot40レノファを検索/
フォローしてみよう!

40周年記念事業を応援して下さる皆様に40周年記念事業の
「サポーター（ゴールドサポ、シルバーサポ、サポーター）」としています。
右のQRコードからサポーター登録をお願いいたします。



登録用QRコードはこちら

Step 2) インスタグラム or G-mail で写真投稿

レノファに関わる作業活動中の写真を
“#yot40レノファ” をつけて投稿！
アカウント：yot.40th もフォローしてね！

40周年写真投稿用のメールアドレス
(yot40renofa@gmail.com) へ送信！

※投稿・G-mailでいただいた写真は、モザイクアートとなって選手に届きます！
※加工が難しい場合は、未加工のまま写真を送ってください。こちらで対応致します。
※個人情報には留意して、必要であれば加工をお願い致します。

参加するには？
～今後の予定～

03 メッセージカード

会員総勢約1000名分のメッセージカードが、モザイクアートとして一つの作品となり、
40周年記念誌に掲載されます！

今後、メッセージカードを皆様の手元にお届けする予定です。
メッセージテーマなどは後日お伝えします。
ご協力お願いいたします。

思い出のひとつとして、自分の言葉を残しましょう！



04 記念式典

令和6年1月20日 @山口県健康づくりセンター

- ・レノファ山口 渡部社長の基調講演
- ・山口県作業療法士会とレノファのコラボ企画に関する対談 など予定

みちしるべ

No.3



題名：Evidenced Based で考える
認知症リハビリテーション

著者：田平隆行、田中寛之

〇見どころ

認知症のリハビリテーションについて、先行研究を踏まえて、エビデンスや適応と限界、アウトカムとの関連が明確に示されている最新の認知症リハビリテーションの評価法、介入法が紹介されています。

臨床において認知症の方に対してどうすればいいのか、何が必要なのかなど、アセスメントやリハビリプログラムに悩むことが多く、アプローチの方法は、優先順位は、本当にこれでいいのか、などを感じながら過ごしています。

2015年に策定された新オレンジプランのなかで、「認知症の人に対するリハビリテーションについては、実際に生活する場面を念頭に置きつつ、有する認知機能等の能力をしっかりと見極め、これを最大限に活かしながら、ADL(食事、排泄等)やIADL(掃除、趣味活動、社会参加等)の日常生活を自立し継続できるよう推進する。」とあります。

この本の中には国内外の認知症リハビリテーション先行研究の結果に基づいて、適切なリハビリテーションを実施するうえで重要な基礎的知見や生活障害に関係する因子について分かりやすく解説している点、エビデンスに基づいた認知症リハビリテーションの評価方法や介入方法が分かりやすく提示されている点、認知症の方と出会う臨床現場での対応がイメージできるように、時期や場所、重症度別の介入戦略を事例を用いて解説されています。

何かあればまず頼りにする本となっており、臨床場面に活用できる大切な本となっています。

介護老人保健施設 寿光園
鍵本州英

レビュー募集

今までのOT人生の中で、自分のOT観に影響を与えた、悩みを解決してくれた、感銘をうけたなどの本を紹介してみませんか？

是非他の会員にもこの本を読んでほしい！という方は、編集員宛にご連絡をください♪

話のネタの
豆知識!

しっちゃんる?



夏になりました。近所の小学校から子供たちの楽しそうな声が沢山聞こえてきます。何十年前、プール掃除や水泳大会を行ったのがとても懐かしく感じます。

そこで、水中で行えるスポーツ、「**水中スポーツ**」について調べてみました。日本水中スポーツ連盟があり、そちらでは5つの水中スポーツについて紹介されていました。

【水中スポーツ紹介】

◎水中ホッケー

2つのチームに分かれてプールの底で、パックをゴールにどれだけ入れられるかを競うスポーツ。



ゲームの特徴

- ・水中という3次元的な空間で行われるため、敵が上からも攻撃してきます。
- ・水中なので声掛けができません。(チームプレーが難しい)
- ・呼吸が制限されるため、個人プレーに限界があります。マスクにより視界が狭く、水中というフィールドから敵味方の判断が難しくなります。

基本的なルール

- ・プレーヤーは6人の選手と交代要員として4人、合わせて10人が登録されます。ゴールキーパーの規定はなく、攻守の役割はチームの戦術により決められます。
- ※広さに応じた人数の設定をして楽しんでください。(5人くらいが基本です)
- ・15分ハーフ、間に3分の休憩及びエンドの交代があります。



◎水中ラグビー

2つのチームに分かれて1つのボールを奪い合い、プールの底に設置されたゴールに入れあう球技です。ドイツでダイビングクラブのトレーニングの一環として誕生したスポーツです。

基本的なルール

- ・競技時間は15分×2セット、1チーム6人で競技をします。水球に似るが、水球のゴールが水面にあるのに対し、水中ラグビーのゴールはプールの底におかれており、シュノーケルを装着しながら競技を行なうなど、水中での動きがより多いです。ラグビーの名をもつものの、楕円形ではなく円形のボールを用います。ボールは水に浮きにくくするために内部に食塩水が入っています。

その他にも、◎フィンスイミング、◎水中写真、◎フリーダイビングがありました。



あまり耳にする事がないスポーツがほとんどで、知らない水中スポーツを知る事が出来ました。

暑い日が続くため、なお海やプールに行って夏を味わいたくなりました。(泳げませんが・・・笑)

作業療法学科 教員募集

募集職種：専任教員 募集人員：1名

仕事内容：作業療法学科における学生教育・指導等

応募資格：資格取得後、常勤で病院等の臨床経験5年以上の方

待遇：経験等を考慮し、当校規定により優遇します

詳細はHPをご覧ください

教員より：熱意のある学生とともに日々、楽しみながら働いています。

QRコードから授業風景や校内の様子もわかります。

興味のある方は、見学や相談を随時、受け付けております。

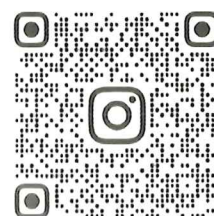
ぜひ、わたしたちと一緒に未来の作業療法士を育ててみませんか？

学校法人 山口コア学園 **山口 コ・メディカル学院**

〒753-0054 山口県山口市富田原町 2-24

TEL 083-933-0550 / FAX 083-920-4786

担当：藤本 E-mail recruit@ptotst.ac.jp



YAMACOME_OT





教育サービス向上につき教員を積極採用中！

教員 募集中

未来の作業療法士を養成する学科の教員を募集しています。
臨床での経験を活かして、「教育」で一緒に医療を支えませんか？



- 勤務場所** 山口県宇部市西宇部南四丁目 11 番 1 号 (JR 宇部駅より徒歩 3 分)
- 業務内容** 作業療法学科における学生教育・指導・広報等
- 学 科** 作業療法学科 定員 20 名 (4 年制)
- 資 格** 作業療法士の資格取得後、臨床経験 5 年以上の方
- 待 遇** 経験等を考慮し、当校規定により優遇いたします
- 応募方法** 履歴書 (自筆、写真貼付) を本校までご送付ください ※なお、応募書類は返却いたしません

専門学校

YIC リハビリテーション大学校

<https://www.yic.ac.jp/rh/> HPはこちら→

〒759-0208 山口県宇部市西宇部南四丁目11番1号 ☎ 0836-45-1000 ✉ rh@yic.ac.jp



記事の掲載依頼について

☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第2日曜日としております。(変更の場合あり)
 次回8月号 (No.331) は令和5年7月9日が締め切りで、発行日は令和5年8月4日頃です。記事掲載希望の方は下記 E-MAIL アドレスへ送ってください。

E-mail : yot_news@hotmail.co.jp

(書式は Word、フォントは明朝 10.5P 英数字は半角でお願いします。)

*編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。

☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

<県士会ニュース編集委員会> 編集委員長 : YIC リハビリテーション大学校 石丸 拓也
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会
LINE 公式アカウント



山口県作業療法士会
公式 Instagram



それっちゃんデジタル版

【編集後記】

冷房が無いとやっていけない夏・・・、もうすでにへばり気味の日々となっています。最近思うことは疲れが抜けない。「年取ったな」と感じるが増えています。そんな日々でも食べたいものはやっぱりアイスやかき氷。ちょっと元気になれる夏の必須アイテムとなっています。この夏も沢山お世話になるんだろうな。皆さんの好きなアイスやかき氷は何でしょうか？



文責：鍵本



それっちゃん
やまぐち

月1回発行

- 発行：山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当：石丸拓也 (専門学校 YIC リハビリテーション大学校)
- 山本隆次 (医療法人 愛の会 光風園病院)
- 吉長卓真 (医療法人社団 宇部興産中央病院)
- 鍵本州英 (介護老人保健施設 寿光園)
- 石部春奈 (介護老人保健施設 寿光園)
- 印刷所：社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》

〒753-0851 山口県山口市黒川2572-1 メゾン西京103

事務 児玉・岡崎 (Tel/Fax : 083-920-0171 Mail : ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com)

Web : <http://www.y-ot.jp/>